平成２５年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 東近江市社会福祉協議会

平成２５年度　東近江市社会福祉協議会事業報告

依然として不安定な経済情勢や厳しい雇用環境、さらには世帯構成の変化や家庭機能の変容、地域社会における人間関係の希薄化、自殺や引きこもりなど社会的孤立の問題、経済的困窮や低所得の問題、虐待などの権利擁護の問題など、地域における福祉課題は更に多様化し深刻化しています。

国では、このような社会情勢等に対応していくため、一連の社会保障制度改革として、平成27年度から「生活困窮者自立支援法」、「子ども・子育て関連３法」の施行や「介護保険制度」の改正等を進め、施策の具体化に向けた準備を進めています。

このような中、本会においては昨年度末に２ヶ年をかけ策定した「地域福祉活動計画」（地区住民福祉活動計画、地域福祉推進計画、基盤強化計画）を、市内１４地区それぞれの住民の思いや課題を形にし、実効あるものとするため、地区での話し合いの場に参画するなど、それぞれの地区の状況に合わせた支援に努めてきました。地域の皆さんの熱い思いで、新たにサロンの取組が始められるなど、多くの取り組みを進めていただいております。

また、平成２５年１０月からは市行政との連携の下に積極的に生活困窮者自立支援モデル事業に取り組み、家計相談支援事業では４家庭が、子ども学習支援事業では２会場で１１名（９世帯）の生徒の参加がありました。初期の目的とした子供たちの居場所づくりとなったり、社会性が身につくなどの成果が見られた反面、新たに課題も出てきております。これらを糧とし、１年後に控えた本格実施を前に引き続き取り組みに務めております。

この他にも、生活福祉資金や小口貸付資金の貸付制度による支援、善意銀行の活用による食料等の物資支援、判断能力が十分でない方の日常生活を支援する権利擁護事業など、誰もが地域で安心した生活が送れるよう、社協組織体制の充実を図るなど取り組みを進めました。

このような「地域福祉活動計画」に基づく福祉のまちづくり活動を推進してくためには、一方で安定して取り組める人的資源・財政的資源の見つめ直しが多方面から必要なことから、新たに「法人経営検討委員会」「在宅福祉事業検討委員会」「会費・共同募金検討委員会」の３つの委員会を設置、一部委員会では外部委員を交え事業の健全経営化に向け現在検討を進めております。

組織面では、八日市支所の廃止による組織のスリム化や支所の事務所化による管理経費の削減等を図っていくこととしました。

また、在宅福祉サービス事業においても、地域福祉を推進する組織としてのサービス提供事業者としての自覚のもとに、事業所の整理統合を決定するとともに、通所介護事業においては提供時間の延長や開催日の増加など、地域の実態に沿った柔軟な展開を今後も推し進めていきます。

具体的な事業及び活動の詳細は次ページ以降のとおりです。

事業報告

《法人運営》

1. 法人の円滑な運営のため三役会の設置による検討を行い、組織の機能強化に努めました。また職員のスキル向上のため、内部研修や外部研修に積極的に参画しました。

（１）会務の運営

役員会の開催

〈三役会〉

第１回

期　　日　　平成２５年５月２２日（水）

審議事項　　１）理事会・評議員会提案事項について

第２回

期　　日　　平成２５年９月２４日（火）

審議事項　　１）理事会・評議員会提案事項について

報告事項　　１）台風１８号被災状況報告

２）ゆうあいの家漏水修繕状況報告

第３回

期　　日　　平成２６年１月２７日（月）

審議事項　　１）理事会・評議員会提案事項について

第４回

期　　日　　平成２６年３月２０日（木）

審議事項　　１）理事会・評議員会提案事項について

〈理事会〉

第１回　定　例

期　　日　　平成２５年５月３０日（木）午前９時３０分から

審議事項　　１）平成２４年度事業報告について

２）平成２４年度一般会計決算について

３）評議員の一部交替に関し理事会の同意を求めることについて

４）社会福祉協議会の経営する施設の施設長選任について

第２回　臨　時

期　　日　　平成２５年７月９日（火）午前９時３０分から

審議事項　　１）社会福祉協議会委員会設置について

２）評議員の一部交替に関し理事会の同意を求めることについて

そ の 他　　１）ゆうあいの家漏水修繕工事について

第３回　臨　時

期　　日　　平成２５年９月３０日（月）午前９時３０分から

報告事項　　１）平成２５年度東近江市社会福祉協議会事業実施状況報告

（４月～８月）

２）第三者委員規程の一部改正について

審議事項　　１）平成２５年度一般会計補正予算について

（第１号、第２号、第３号）

２）経理規程の全文改正について
３）第三者委員の委嘱に関し、理事会の同意を求めることについて

第４回　臨　時
期　　日　　平成２６年１月２９日（水）午前９時３０分から
報告事項　　１）平成２５年度東近江市社会福祉協議会事業実施状況報告（９月～１２月）
２）法人経営検討委員会、在宅福祉事業検討委員会、会費・共同募金検討委員会の中間報告について
審議事項　　１）平成２５年度一般会計補正予算について（第４号、第５号）
２）社会福祉法人東近江市社会福祉協議会評議員の交替に関し、理事会の同意を求めることについて

第５回　臨　時
期　　日　　平成２６年２月２４日（月）午後１時３０分から
協議事項　　１）平成２６年度東近江市社会福祉協議会の組織機構について

第６回　定　例
期　　日　　平成２６年３月２４日（月）午前９時３０分から
審議事項　　１）平成２５年度一般会計補正予算について（第６号）
２）平成２６年度事業計画（案）について
３）平成２６年度一般会計予算（案）について
４）社会福祉法人東近江市社会福祉協議会定款の一部変更について

〈監事会〉

第１回
期　　日　　平成２５年５月２１日（火）午前９時から
監査事項　　平成２４年度事業ならびに決算について

第２回
期　　日　　平成２５年８月２２日（木）午前９時から
監査事項　　平成２４年４月～６月までの事業、会計について

第３回
期　　日　　平成２５年１１月２７日（水）午前９時から
監査事項　　平成２５年７月～９月までの事業、会計について

第４回
期　　日　　平成２６年　２月２８日（金）午後１時３０分から
監査事項　　平成２５年１０月～１２月までの事業、会計について

〈評議員会〉

第１回　定　例
期　　日　　平成２５年５月３０日（木）午後２時から
審議事項　　１）平成２４年度事業報告について
２）平成２４年度一般会計決算について
３）理事の一部交替に関し評議員会の議決を求めることについて

第２回　臨　時
期　　日　　平成２５年９月３０日（月）午後１時３０分から

報告事項　　１）平成２５年度東近江市社会福祉協議会事業実施状況報告
（４月～８月）
２）経理規程の全文改正について
３）第三者委員規程の一部改正について
４）第三者委員の選任について
審議事項　　１）平成２５年度一般会計補正予算について
（第１号、第２号、第３号）

第３回　臨　時
期　　日　　平成２６年１月２９日（水）午後２時から
報告事項　　１）平成２５年度東近江市社会福祉協議会事業実施状況報告
（９月～１２月）
審議事項　　１）平成２５年度一般会計補正予算について（第４号、第５号）
２）理事の一部交替に関し評議員会の議決を求めることについて

第４回　定　例
期　　日　　平成２６年３月２４日（月）午後２時から
審議事項　　１）平成２５年度一般会計補正予算について（第６号）
２）平成２６年度事業計画（案）について
３）平成２６年度一般会計予算（案）について
４）東近江市社会福祉協議会定款の一部変更について

〈委員会〉
法人運営検討委員会
１月１７日
共同募金検討委員会
１２月１７日、３月６日
募金配分委員会
１０月１８日　　配分基準について
平成２５年度社会福祉大会被表彰者選考委員会
９月　２日　　社会福祉事業功労者等の選考
第三者委員会
８月２９日　苦情情報報告(平成２５年１月～７月)
２月１７日　苦情情報報告(平成２５年８月～平成２６年１月)
第三者委員の役割について
・事業説明、苦情内容と事故報告等
・事業所訪問及び利用者との懇談
・苦情　　２２件
・事故　　車両関係　４６件
介護関係　５１件
その他　４１件

（２）法人運営機能強化・危機管理のため役職員の資質向上を図ることを目的に内部研修の実施や外部研修に参加しました。
・理事、評議員研修ならびに社協事業説明会（東近江市福祉センター）
７月３１日　　講師　県社協地域福祉部　　部長　谷口 郁美氏

・職員全員研修（正規職員・嘱託職員・非常勤職員）
　１０月２日　人権研修　１５３名参加
　講師　　前聖徳中学校長　　辰巳　三喜雄　氏

・社協全国会議への参加　　６月１７、１８日　３名出席
・生活困窮者自立支援シンポジウム　　１２月　３日　３名出席
　　１２月１７日　５名出席
・滋賀県社協主催の中間マネジャー会議への参加（係長以上）
・企業内窓口担当者研修等、県や市で実施される人権研修への参加
・トップセミナー　　３月３日　　理事８名・職員１３名出席

（３）連絡調整のための会議の開催および各種会議等の参加により情報共有と共通認識を図りました。

課長会（月１回）　支所長会（月１回）
滋賀県社協主催プロジェクト等への職員の委員参画
東近江安心ネットワーク事業運営委員会
東近江介護サービス事業者協議会
東近江市高齢者虐待防止ネットワーク協議会
東近江市介護保険運営協議会
東近江市人権のまちづくり協議会
東近江市防災会議
止揚学園５０周年式典参加
滋賀県身体障害者福祉大会・滋賀県知的障害者福祉教育振興大会
実行委員としての参画
共同募金全国ミーティング企画委員会への参画

（４）平成２５年度東近江市社会福祉大会（第９回）の開催

期　　日　１０月１１日（金）
　　午後１時３０分から
場　　所　東近江市あかね文化ホール
参加人数　３５０名

社会福祉大会　記念講演

内　　容
①式　典
表彰状、感謝状の贈呈

◇きらめき大賞	７名	３団体
◇東近江市共同募金委員会長感謝	２名	２９団体
◇社会福祉協議会長表彰		
民生委員児童委員	２７名	
社会福祉事業功労者	３４名	
ボランティアグループ・個人	５名	４グループ
福祉団体		１団体
◇社会福祉協議会長感謝	１１名	１６団体

②記念シンポジウム

演題　『つながりと地域愛でつくるふだんのくらしのしあわせ』

コーディネーター　桃山学院大学　社会学部　教授　松端　克文氏

（地域福祉活動計画策定委員長）

シンポジスト

東近江青年会議所(JC)	監事	筑紫　康之氏
八日市冒険遊び場	プレワーカー	藤澤　彰祐氏
働き・暮らし応援センター“Tekito-”	センター長	野々村光子氏

（５）個人情報保護規程および法令遵守要綱の遵守

（６）東近江市平和祈念式への協賛・協力　　７月６日

２．社会福祉協議会の財政基盤確立のため自主財源の確保に努めました。

（１）会費の使い道をわかりやすく説明するため地区ごとにチラシを配布しました。

一般会費　　一口　　５００円

特別会費　　一口　　１，０００円

【自主財源の確保】

◇一般会費　　１２，２７３，６３５円

◇特別会費　　１，８８２件　　３，１７１，０００円

（２）事務局を担当する共同募金運動の一層の推進により地域福祉財源の確保に努めました。

滋賀県共同募金会東近江市共同募金委員会

① 委員会事務局の運営

理事会	５月３０日（木）、９月３０日（月） １月２９日（水）、３月２４日（月）
評議員会	５月３０日（木）、１月２９日（水） ３月２４日（月）
監事会	５月２１日（火）、８月２２日（木） １１月２７日（水）、２月２８日（金）

②募金活動の推進（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金）

◇一般募金実績　　１４，５０３，２８８円

配分状況　　団体助成　　４７件　　２，０５５，９００円

約６割は、市内の高齢者や障がい者を対象とした事業や、地区、自治会の地域福祉活動、福祉団体等への活動助成

約４割は、滋賀県共同募金会を通じて、県内の福祉施設や共同作業所へ助成

◇歳末たすけあい募金実績　　６，１８５，１７８円

配分状況

生活困難世帯（激励金対象者数）

１，０５５人　　５，２７５，０００円
学童保育、私立保育園、共同作業所、福祉施設等の年末年始事業への支援
３６件　　１，３５０，４００円

◇東日本大震災義援金募集活動　・・・・・・・・・総計　４１９，８４８円
（4月～3月）

３．善意銀行に寄付された金品を市民の福祉向上のために活用しました。

（１）預託

・金銭預託	一般寄付金	１０８件	１，９２３，０５４円
	指定寄付金	３２件	３，４３８，９４９円
	手数料収入	１３件	２１５，９７９円
			（自動販売機）

・物品預託
主な物品　米、車椅子、リハビリパンツ、タオル、食料品、衣類等

・リサイクル預託

使用済み切手	６５件	使用済みテレカ	５件
アルミ缶	２０件	牛乳パック	６件
書き損じハガキ	２件	ペットボトルキャップ	８３件
ベルマーク	１７件		

（２）預託金品等の効果的な払い出し

・金銭払出　５８件　１，０１０，２９３円
主な払出先
地区社協（１２地区）、福祉電話（４件）、いわての学び希望基金（岩手県復興局）［指定寄付］（１件）

・物品払出　米、車椅子、リハビリパンツ、タオル、食料品、衣類等

（３）広報活動

・広報紙「ひがしおうみ社協だより」に掲載
・善意銀行だよりの発行

サンタナ学園へのお米の贈呈

４．援護を必要とする市民への支援活動

低所得世帯・高齢者世帯・障がい者世帯の自立を支援するため、滋賀県社協からの委託による生活福祉資金貸付けや、東近江市社協独自の小口貸付資金、善意銀行、共同募金を活用した支援事業を実施しました。
また東近江市より生活困窮者自立支援モデル事業として、家計相談支援事業と子ども学習支援事業を受託し、新たに生活困窮者への支援を行いました。

（１）生活福祉資金貸付制度の活用と指導助言
資金の貸付や緊急食料品等を活用し、社協らしく柔軟に生活困窮者への相談支援を行いました。

資金の種類	件　数	資金の種類	件　数
福祉資金	6 件	教育支援資金	4 件
緊急小口資金	25 件	総合支援資金	13 件
臨時特例つなぎ	3 件	要保護世帯向け 不動産担保資金	0 件

計　５１件　　１６，９６５，４５０円

（２）小口貸付資金の貸付事業（本会単独事業）５８件　　８５０，０７０円

（３）歳末たすけあい運動による激励訪問

（４）緊急食料品給付事業　　３６世帯　６８袋

（５）福祉電話設置運営　　４台　　７４，９３２円

（６）災害見舞金事業

火災見舞金　　７件

浸水見舞金(台風１８号)　　２６件

（７）家計相談支援事業の実施(１０月より実施)　　４世帯　支援回数　１４６回

（８）子ども学習支援事業の実施

２会場　３７回　利用児童　１１名（９世帯）

子ども学習支援

５．施設運営・管理の実施

広く市民の皆さんからのニーズに応え、安全安心に利用していただけるよう環境整備を行いました。

（１）市施設の指定管理・運営（２施設）【市指定管理】

・東近江市福祉センターハートピア

一般来館者　　２２，９８７名

貸館利用者　　７，８９３名（６９３件）

・能登川障害福祉センター水車野園

（２）市社協施設の管理・運営

ちゃがゆの郷、かじやの里の新兵衛さん

永源寺支所ゆうあいの家、蒲生支所せせらぎ

蒲生デイサービスセンターあさひの

《地域福祉活動の推進》

６．地域で安心して暮らせるために
「見守り」や「声かけ」、支え合い活動の推進・支援

（１）地域見守り支援事業

日常的な見守り活動のきっかけづくりや、ひとり暮らし高齢者等の状態を把握するため、民生委員児童委員や福祉委員、地域ボランティアによる個別訪問活動を支援し、地域の見守り活動を実施しました。

・地域見守り活動の実施内容

給食サービス・配食サービス・友愛訪問・ひとり暮らし高齢者安否訪問

対象者　１，２５２名　　実施回数　１７３回　　延べ人数　１２，１７０名

（２）サロン活動支援

自治会館など身近な場所で、地域ボランティアや民生委員児童委員、自治会などが実施する地域ぐるみの見守り活動につながるサロン活動の支援を行いました。また、「あったかサロンづくり事業補助金」（市委託）と「ふれあいいきいきサロン助成金」により、地域サロンへ活動助成を行いました。

・あったかサロンづくり事業補助　　１２５ヶ所　　８，３０６，９８５円

　開催回数　１，５９９回　　参加者延　３３，６１０名

・ふれあいいきいきサロン助成　　１０２ヶ所　　４，７９５，０００円

　開催回数　　７３５回　　参加者延　１７，４５６名

・サロン活動支援（相談・打合せ、ボランティア調整など）　　７１２回

・ニコニコ健康づくり＆コミュニケーションゲーム講習会の開催

　全４回シリーズ　　参加者延　８３名

・八日市８地区サロン交流会　　１回　　参加者　　５４名

・しあわせホームボランティア交流会　　１回　　参加者　　３５名

八日市サロン　ジャンボカルタとり

箕川町サロン〝おつけものサミット〟

ニコニコ健康づくり＆
コミュニケーションゲーム講習会

（３）小地域ネットワークづくり

どのような状況にあっても暮らし続けられる地域づくりのために、モデル地区を指定し、住民懇談や学習の場を通して、住民自らが地域の状況や課題を認識し、それぞれの地域に合った支え合いのネットワークづくりの支援を行いました。

・小地域ネットワーク活動実施地域の支援　２自治会

（４）生活支援サポーターの養成

制度やサービスだけでは支えきれない困りごとや暮らしづらさを抱える人と、「困っている人を支援したい」「何かしたい」と感じている人をつなぐ、地域性に応じた新たな助け合いの仕組みをつくるため、２ヶ所で講座を開催しました。

・生活支援サポーター養成講座の開催	２地区	８回	参加者延	２１６名
・生活支援サポーター“絆（きずな）”活動支援				３３８回
・長峰北生活サポート隊活動支援				１５回
・八日市地区生活支援サポーター活動支援				２４回
・ちょこっとサポートみその活動支援				１１０回
・神田見守り活動支援				５４回
・ちょっと大塚活動支援				３回
・能登川地区生活支援サポーター活動支援				１回

能登川地区　生活支援サポーター養成講座

中野地区　生活支援サポーター養成講座
～第３回　“絆”活動紹介～

ちょこっとサポートみその定例懇談会

（５）地域防災・災害時要援護者支援

近隣住民による、日頃からの助け合い、支え合いのきっかけとなる学習会や「住民支え合いマップづくり」などに取り組む自治会へ職員が地域に出向き、推進に努めました。

・住民支え合いマップ	１ヶ所
・防災マップ	１ヶ所
・自主防災研修会	１ヶ所
・防災・減災学習会	１ヶ所
・防災運動会	２ヶ所
・防災講演会	２ヶ所
・防災訓練	２ヶ所
・命のバトンの取り組み支援	４ヶ所

神田町「つながり」支え合いマップづくり

（６）地域福祉活動のきっかけとなる懇談会等の開催

近隣住民による助け合い、支え合い活動のきっかけとなるよう、懇談会や交流会を開催しました。

・福祉委員会、福祉推進委員会、福祉協力員への活動支援				１８０回
・地域福祉懇談会の開催	５地区	７回	参加者	４６２名
・福祉委員会、福祉推進員交流会の開催	３地区	６回	参加者	２０３名

愛東地区　福祉委員会交流会

蒲生福祉のまちづくり講座

湖東地区　福祉懇談会

７．市民参加・市民活動のまちづくり

地域福祉、ボランティア活動への参加や活動の促進、地区社協活動の活性化、ＮＰＯや福祉団体、当事者組織などの支援を推進

（１）ボランティアセンターの運営

ボランティア活動への参加を希望する方と、ボランティアの協力を求める方をつなぎました。また、学生をはじめとした若者の力を東近江市に迎え、地域の困りごとの解決に向けた「ワークキャンプ」の活動を支援しました。

「災害ボランティアセンター」については、東日本大震災での教訓などから、その在り方について検討しました。市総合防災訓練では、職員参集訓練、開催地区福祉事業所との連携訓練、災害対策本部や民生委員児童委員協議会、滋賀県災害ボランティアセンター等と連携して開設運営訓練を行いました。また、『災害時職員ハンドブック』を作成し、災害時に対応するための職員研修を２回（１０月・３月）実施し、職員としての心がまえについて学びました。

・ボランティアの把握・登録数

区　分	登録数	登録人数	登録外 把握数	登録外 把握人数
個人ボランティア		97 人		9 人
ボランティア団体	97 団体	1,390 人	58 団体	789 人
ボランティア人数計		1,487 人		798 人

・ボランティア・市民活動に関する相談窓口の開設

問い合わせ・相談　　６４５件

・ボランティア需給調整

コーディネート、マッチング　　１，２１１件

・ボランティアグループの育成、援助および連絡調整

ボランティアグループ助成　　３９グループ　　７５０，４２５円

・ボランティア保険の加入促進

活動保険加入手続き　　１８６件　　３，３４４名

（大規模災害特例　３７件　　１９８名）

行事用保険加入手続き　　１１９件　　７，２４８名

・ボランティア交流会の開催　　１回　　参加者　３６名

・ボランティアのつどいの開催　　１回　　参加者　４７名

・東近江市総合防災訓練における災害ボランティアセンター開設運営訓練および職員参集訓練の実施

１０月２７日（日）　　参加職員　４０名

協力：民生委員児童委員協議会、探検の殿堂無線倶楽部、ボランティア、高齢者　　協力者　１１９名

・被災地支援活動

台風１８号被災による復旧支援　　２ヶ所

・ボランティアセンターの開設(能登川ドリームハイツ)

９月１７日　ボランティア４４人　職員１０名

・高島市災害ボランティアセンターへの職員派遣およびボランティア募集

９月２０日・２２・２３日、１０月１２日　　ボランティア８名　職員８名

・災害時に対応するための職員研修会　　２回

・「災害時職員ハンドブック」の作成

・ワークキャンプ活動支援　　１自治会　　ボランティア受入　１４名

ボランティアのつどい

東近江市総合防災訓練
災害ボランティアセンター設置運営訓練

台風１８号被害
能登川　ドリームハイツ復旧活動

（２）ＮＰＯ、福祉団体、当事者組織支援

ＮＰＯをはじめとする市民活動や、福祉団体・当事者組織の活動を通した福祉への理解を促進するため、協働した活動の実施や「共同募金」による事業費助成などを行いました。

（３）福祉のまちづくりの啓発、福祉教育の実施

子どもから大人まで幅広い市民に、住みよいまちづくりに向けた視点や福祉理解を進めるため、啓発活動を実施しました。学校へ出向いての福祉学習について、思いやりや気づきにつながる学習プログラムの開発に努めました。また、市内在住の学生の実習を積極的に受け入れ、将来の福祉人材の育成にも取り組みました。

・「命と暮らしを支えるフォーラム」の開催　　１回　　参加者　１４０名

・福祉のまちづくり講座、地域福祉講演会の開催

２地区　　２回　　参加者　　７７名

・福祉教育（市内小中学校等への出前講座）

学校　１２０件　　回数延　１４６回

参加者延　５，１２３名

相談、問合せ、コーディネート　６７５件

湖東第３小学校　福祉学習

・社会福祉援助技術現場実習の受け入れ
　　龍谷大学４名　花園大学２名

市辺地区　住民福祉講座

八日市地区「サロンでまちづくり講演会」

命と暮らしを支えるフォーラム

（４）企業等の貢献活動への支援
地域貢献や社会貢献活動、社員のボランティア活動を行う市内事業所、企業に対し、支援しました。

（５）「第５回退職シニア地域デビュー（仲間づくり応援）講座」の開催
団塊世代をはじめとする、退職後の仲間づくりや地域活動の人づくりのため、講座を開催しました。講座受講生ＯＢには企画や講師で参画いただきました。
全６回シリーズ　参加者延　８０名
協力：第１～４回受講生ＯＢ
（遊歩会・ピョンの会・毘遊会・いとはん２５）

退職シニア地域デビュー講座

（６）地区社協活動の支援と活性化
「地区住民福祉活動計画」の中核となる地区社協を支援するため、「会費」「善意銀行」「共同募金」による活動助成を行いました。また、市まちづくり推進課との連携を図り、地区社協と地区まちづくり協議会との関係調整の支援を行いました。

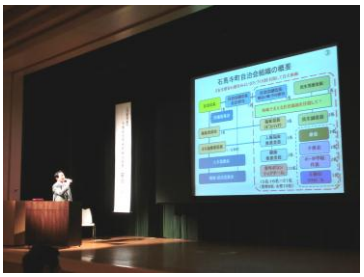
・１４地区社協連絡会の開催　　２回
・地区社協運営・活動支援　　１，２３８回
（役員会への参加、活動に関する相談・コーディネート、事業への参加協力、研修会の開催、広報紙の発行等）
・地区社協への運営費、事務局設置費助成

会費による運営費助成	１４地区	１，８４１，０２６円
会費による事務局助成	７地区	１，７０４，８９８円

・地区社協への事業費助成

赤い羽根共同募金による助成	９地区	６０９，９００円
歳末すけあい募金による助成	９地区	４５２，１００円
善意銀行による助成	１２地区	８７３，７９７円

永源寺福祉の会　サロン交流


五個荘地区社協　地域福祉講演会

玉緒地区社協　出会いの広場

８．困った時の相談窓口と権利擁護支援

暮らしに関わる困りごとへの相談窓口の設置。認知症や障がいにより判断能力が不十分な方々の金銭管理や福祉サービスの利用、成年後見制度利用の支援

（１）心配ごと相談所の開設

生活上の心配ごとや困りごとの相談に、心配ごと相談員（民生委員児童委員）が関係機関や制度・施策につなぐなどの支援を行いました。また、相談員の研修会を開催しました。

・心配ごと相談所

開設　３ヶ所　　開催数　６０回　　相談件数　１８件

主な相談内容（家族６件、財産３件、生計３件　ほか）

・心配ごと相談員研修　　３回　　参加者延　５２名

（２）無料法律相談の開設

弁護士による無料相談を開設し、法的対応が必要な家庭、暮らしの困りごとに応じました。

・法律相談

開催数　１２回　　相談件数　４３件

主な相談内容（金銭トラブル１１件、財産２１件、家庭８件　ほか）

（３）常設相談の実施

市民の身近な相談窓口として、職員が常時相談に応じました。また、市民をたらい回しにしないよう、必要に応じて福祉施設、行政などの関係機関につなぐ支援に取り組みました。

・常設相談

相談件数　３，９６４件

主な相談内容（生計５８３件、小地域福祉活動５４１件、
ボランティア５４０件　ほか）

（４）地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

認知症や障がいにより判断能力が不十分な方々へ、福祉サービス利用援助や日常的な金銭管理、書類等預かりサービスを通した生活支援を行いました。また、必要に応じて成年後見制度への移行支援や、後見人との連携による支援を行いました。

・福祉サービス利用援助
・日常的な金銭管理援助
・書類等預かりサービス
・成年後見制度の利用援助

	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	不明 その他	合　計
問合せ 件数	11 件	6 件	5 件	2 件	24 件
初回相談 件数	14 件	7 件	2 件	1 件	24 件
相談援助 件数	2,709 件	3,556 件	2,292 件	0 件	8,557 件
契約件数	60 件	61 件	31 件	0 件	152 件

3 月 31 日現在

９．子ども、ひとり親家庭、高齢者支援
いきいきと安心して暮らせるまちづくりをすすめるため、地域や福祉センターでの取り組み、募金や寄付などの善意を活用

（1）障がい児の地域活動支援

障がいを持つ子どもたちが楽しく有意義な休暇を過ごせるよう、「サマーホリデー事業」「障がい児親子サロン」等の実施、支援を行いました。特に「サマーホリデー事業」は市内 6 会場で開催し（市委託）、本事業を持続可能なものとするため、保護者との協働を進め、新たな東近江市の「サマーホリデー事業」のカタチづくりに取り組みました。

・サマーホリデー事業　６会場　　開催日数　　１７日
　　参加登録児童　　１２１名　参加者延　１，０６７名
　　指導員　　３７名　参加者延　　４３９名
　　ボランティア　　参加者延　１，６０９名
　　サマーの会打合せ会議　　６回
　　指導員リーダー打合せ会議　　７回
　　指導員研修会　　３回
　　保護者事前説明会　　１回
　　保護者・指導員合同打合せ　　２回
　　各会場打合せ　　１８回
・障がい児親子サロン　１会場　　１１回

対象登録児童	２５名	参加者延	１４３名
対象登録児童の家族		参加者延	１５７名
ボランティア	２３名	参加者延	６３名

サマーホリデー事業

（２）子育て支援

地域のボランティアの協力により「おもちゃ図書館」を開設し、子育て中の親子の支援を行いました。また、「児童センター」（市委託）では親子参加の講座の開催や子育てサークルの支援を行いました。

・おもちゃ図書館の開催	６７回	参加者延	１，２６７名
・移動おもちゃ図書館の開催	１７回	参加者延	３８５名
・おもちゃの貸出			２０６件
・「子育ていっぽにほ通信」編集会議	年１７回	参加者延	１０６名
・おしゃべり広場	２回	参加者延	１５名

（３）福祉センターでの事業実施

「児童センター」（市委託）では、乳幼児の親子から小中学生まで、幅広い年齢の子どもたちに遊び場の提供を行いました。

「老人福祉センター」（市委託）では概ね６５歳以上の高齢者を対象とした講座の開催や交流、相談等を行いました。「母子福祉センター」（市委託）では、一人親家庭を対象とした講座の開催や交流、相談等を行いました。

①児童センター事業

・遊びを通した日常的な関わりの中での児童や保護者からの相談			９８件
・自由来館（遊び場の提供、遊び指導）			１０，４１６名
・親子サロン「まめっこサロン」	１８回	参加者延	１，０８５名
「ぽかぽかサロン①②」	３６回	参加者延	１，８３６名
・プレイパーク活動支援	１１回	参加者延	１１２名
・夏休みクラブ活動「手作り教室」	２回	参加者延	２５名
「折り紙教室」	２回	参加者延	１０９名
・あそび隊	２回	参加者延	４１名
・サイエンスクラブ	１７回	参加者延	２４６名

・サイエンスクラブ特別講座　　２回　　参加者延　　５６名
・びわっこフェスタ　　１回　　参加者延　１，２９９名

②母子福祉センター事業

・母子および寡婦の家庭生活の安定と自立の促進を図る各種相談　　３０件
・母子福祉推進員会、母子福祉のぞみ会の会議参加、事業協力
・教室等の開催　一日バス旅行　　１回　　参加者　　５６名
　パソコン教室　　１２回　　参加者延　　２５名
　料理教室　　６回　　参加者延　　２８名
　生け花教室　　１０回　　参加者延　　９５名
　もぐもぐクラブ　　６回　　参加者延　　３９名
　おしゃべり会　　１回　　参加者述べ　　５名

③老人福祉センター事業

・自由来館　　２６０名
・サークル活動の場所提供　　５団体　１０５回　　利用者　１，９１８名
・教室等　パソコン教室　　１４回　　参加者延　　９２名
　寄せ植え教室　　３回　　参加者　　２７名
　陶芸教室　　３回　　参加者延　　３６名
　演芸サロン　　２回　　参加者延　　１４名

プレイパーク　お芋ほり

サイエンスクラブ

おしゃべり会

（４）遊具の設置と事故防止活動

「赤い羽根共同募金」による児童遊園の遊具設置と補修の助成を行いました。また、子どもや高齢者の交通事故防止のため自治会へ「飛び出し人形」を配布し、注意喚起しました。

・児童遊園等遊び場への遊具設置および補修の助成
　新設　２自治会　　３００，０００円
　補修　８自治会　　３３２，９００円
・補修用ペンキの貸出
・交通事故防止のための「飛び出し人形」の設置
　飛び出し人形設置　７２自治会

（５）米寿記念写真の贈呈・掲額

「赤い羽根共同募金」により満８８歳を迎えた方々に米寿をお祝いする記念写真を撮影、掲額、贈呈しました。

・撮影、掲額、贈呈　　２４９名　　１，０１２，６００円

10. 調べる、知らせる、考える取り組み

地域の福祉課題や、市民の地域福祉への関心を高めるため、調査・広報啓発・検討の取り組みを推進

（１）社会福祉調査の実施

支援を必要とする方々の実態や、今後の地域福祉の取り組み方向の指標とするため、民生委員児童委員と協働して「社会福祉調査」を実施しました。

（２）広報紙の発行とホームページの運営

福祉への理解や、ボランティア活動をはじめとする福祉活動への参加、呼びかけ、情報発信のために「ひがしおうみ社協だより」ならびに支所だよりを発行しました。またホームページの運営を通して、幅広い啓発、情報発信に取り組みました。

広報誌名	発行回数／部数／配布方法等
ひがしおうみ社協だより	6 回／40,700 部／新聞折込、郵送
東近江市福祉センターだより	1 回／40,000 部／新聞折込
八日市支所だより「きらきら」 ボランティアだより「ほっと」	4 回／15,500 部／新聞折込
永源寺支所だより	2 回／ 2,000 部／自治会配布
寿ぴあかわら版	3 回／ 1,500 部／自治会配布
能登川支所だより (「こんにちは のとピーです」内)	6 回／ 8,000 部／自治会配布
蒲生支所だより	1 回／ 4,850 部／新聞折込
東近江市児童センターだより	3 回／ 8,168 部／児童、関係機関配布
子育ていっぽにほ通信	1 回／ 1,186 部／関係機関配布

（３）『東近江市地域福祉活動計画』の推進

・計画推進に向けた会議等の開催　１４地区　１，０５８回

・中学生懇談会　　３校

船岡中学校懇談会

平田地区　推進会議

建部地区　安曇川町藤江区カフェ視察

《在宅福祉事業の実施》

11．介護保険事業

介護保険事業それぞれの役割や視点から、高齢者の在宅生活を支援するとともに、行政や関係諸機関、他事業所と相互に連携した効果的な事業実施を目指しました。

（1）居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント（受託事業）

要介護認定を受けられた方からの依頼を受け、要望の聞き取りや状況の確認を行い、在宅生活を継続する上で必要となる介護サービス計画（ケアプラン）や要支援の方への介護予防ケアプランを作成提案し、在宅生活に必要な介護サービスの調整を行いました。

	事業所	延契約者数		延利用者数			
		介護	予防	介護	予防	合計	月平均
ｹｱﾌﾟﾗﾝｾﾝﾀｰ	八日市	1,014 人	168 人	1,037 人	152 人	1,189 人	99 人
	ゆうあい（永源寺）	949 人	371 人	909 人	338 人	1,247 人	104 人
	なごみ（能登川）	1,532 人	186 人	1,424 人	161 人	1,585 人	132 人
	蒲　生	741 人	96 人	678 人	88 人	766 人	64 人
	合　計	4,236 人	821 人	4,048 人	739 人	4,787 人	399 人

①全体会議（年２回）　・Ｈ２５年度会議内容、研修について
②管理者会議（年３回）　・自主研修、事業状況について
③研修担当者会議（年５回）　・自主研修検討
④内部研修（年５回）　・事例検討

（2）訪問介護（介護予防）事業

要支援・要介護認定を受けられた介護が必要な方へ、ご自宅に訪問して入浴介助等の身体介護や、生活に必要な調理等の生活援助を行います。内部・外部研修を通じて職員の資質向上を図ることで、より質の高いサービス提供が行えるよう取り組みました。

	事業所	延契約者数		延利用者数			
		要支援	要介護	要支援	要介護	合計	月平均
ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ	八日市	216 人	429 人	1,411 人	6,818 人	8,229 人	686 人
	永源寺	181 人	361 人	760 人	7,199 人	7,959 人	663 人
	湖東愛東	91 人	214 人	517 人	4,168 人	4,685 人	390 人
	五個荘能登川	192 人	494 人	1,311 人	6,876 人	8,187 人	682 人
	蒲　生	79 人	345 人	460 人	6,952 人	7,412 人	618 人
	合　計	759 人	1843 人	4,459 人	32,013 人	36,472 人	3,039 人

①管理者会議（年１２回）
・実習生受け入れ及び指導、ミーティング内容、通院介助、事業目標、緊急時対応、事業課題、契約書改正、自主事業、自己評価、制度改正について
②サービス提供責任者会議（年１１回）

・サービス提供確認票様式、利用者ヒアリング結果考察、事業所自己評価、帳票整理、緊急時訪問介護加算、事業課題、障がいヘルプモニタリング等について

③研修担当者介護（年３回）　・内部研修検討、調整

④内部研修（７月２３日）　・ストレスマネジメント

（３月１４日）　・訪問業務における感染症予防対策

（３）訪問入浴介護（介護予防）事業

専用の訪問入浴車を使用し、分割式浴槽を居室に設置させていただいて、移動が困難な要介護高齢者への入浴サービスを提供しました。

	事業所	延契約者数		延利用者数			
		要支援	要介護	要支援	要介護	合計	月平均
ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ	永源寺	0 人	53 人	0 人	603 人	603 人	50 人

①担当者会議等（訪問介護事業と一体的に実施）

②共益財団法人ＪＫＡより助成を受け訪問入浴車の入替実施

（４）通所介護（介護予防）事業

デイサービスセンターにおいて、入浴や体操、食事、レクリエーションなどのプログラムを通じ、利用者の心身機能の維持・向上や社会的な孤立感の解消、また家族の介護負担軽減をはかりました。各事業所の特徴を活かし、魅力あるサービスづくりに取り組みました。

	事業所	延契約者数		延利用者数			
		要支援	要介護	要支援	要介護	合計	月平均
ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	ハートピア（八日市）	151 人	436 人	809 人	3,718 人	4,527 人	377 人
	ゆうあいの家（永源寺）	169 人	621 人	1,063 人	4,854 人	5,917 人	493 人
	じゅぴあ（愛東）	106 人	444 人	613 人	4,098 人	4,711 人	393 人
	なごみ（能登川）	149 人	657 人	875 人	5,302 人	6,177 人	515 人
	あさひの（蒲　生）	104 人	509 人	735 人	5,216 人	5,951 人	496 人
	合　計	679 人	2,667 人	4,095 人	23,188 人	27,283 人	2,274 人

①管理者会議（年１１回）

・Ｈ２５管理者会議内容検討、事業所間職員交換研修実施、事業計画確認、利用率増に向けての取り組みについて、特別警報等の対応、事業別研修計画作成について、職員間コミュニケーションについて

②生活相談員会議（年１１回）

・内部研修検討、アンケート結果情報共有、キャンセル率低下への取り組みについて、事業所内学習会、職員会議の持ち方、介護者のつどいについて、事業状

況確認、定員調整について、事業内容の見直しについて

③内部研修（　７月１２日）　・腰痛予防

（１０月１１日）　・コミュニケーション研修

（１１月２１日）　・口腔ケア

（５）地域密着型サービス

認知症や要支援・要介護状態となっても、可能な限り住み慣れた自宅や地域で生活できるよう介護サービスを通じて支援する事業です。認知症介護専門の事業として、利用者の一人ひとりの状態に応じた適切なサービス提供に努めました。また、地域とのかかわりを大切にした事業運営を行いました。

【認知症対応通所介護（介護予防）事業】

少人数で家庭的な雰囲気の中、認知症の進行予防や機能維持をはかれるよう、個別のかかわりを重視したサービス提供を行いました。

	事業所	延契約者数		延利用者数			
		要支援	要介護	要支援	要介護	合計	月平均
ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ	ハートピア（八日市）	0 人	178 人	0 人	2,124 人	2,124 人	177 人
	ちゃがゆの郷（能登川）	0 人	141 人	0 人	1,360 人	1,360 人	113 人
	合　計	0 人	319 人	0 人	3,484 人	3,484 人	290 人

①管理者会議（年６回）

・認知症高齢者見守りネットワーク事業、事業所ＰＲ、徘徊保護訓練について
事業計画、予算、研修計画、記録様式、地域密着事業理念について

②生活相談員会議（通所介護と合同実施）

【小規模多機能型居宅介護（介護予防）事業】

認知症の方が住み慣れた地域の施設で「通い」を中心として、生活や身体の状態に応じて「訪問」や「泊まり」サービスを組み合わせて利用していただける介護サービスです。認知症専門の施設として、地域住民の方への認知症予防の啓発や、認知症高齢者の見守り体制づくりを行いました。

	延契約者数		延利用者数		
	年間	月平均	泊り	訪問	通い
かじやの里の新兵衛さん	281 人	23 人	5,610 人		
			814 人	967 人	3,829 人

①管理者会議（認知症対応型通所介護と合同実施）

②生活相談員会議（通所介護と合同実施）

③運営推進会議（６月２１日、８月２３日、１０月２５日、１２月２０日、
２月２１日）

・事業の進捗状況、徘徊保護訓練の予定、平成 24 年度事業報告、外部評価報告
26 年度事業について

④認知症高齢者徘徊保護訓練関係

徘徊保護訓実行委員会（６月７日、８月２２日）
・今年度の参加自治会、スケジュール確認、準備等進捗状況確認
認知症学習会（８月２４日）
・徘徊保護訓練参加自治会住民を中心とした学習会
徘徊役、観察係打ち合わせ（８月２８日）
自治会打ち合わせ（９月１８日）
徘徊保護訓練（９月２８日）４５０名参加

能登川地区　徘徊保護訓練

⑤見守りネットワーク会議（１０月２５日）
⑥東近江市専門福祉避難所の設置運営に関する協定調印式（１２月２５日）

12. 障がい（児）者福祉サービス事業

障がい（児）者の方が住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、居宅介護事業をはじめ、相談事業等を実施しました。市や東近江圏域のサービス調整会議、また他事業所との連携を深め、地域に必要な障がい福祉サービス事業のあり方について検討を進めると共に、サービス内容の充実に努めました。

（１）居宅介護（障がいホームヘルパー）事業

サービスを必要とされる障がい者のご自宅に訪問し、生活に必要な支援を行いました。多種多様なニーズに対応できるよ、様々な機会を通じ技術、知識の向上に取り組みました。

	事業所	延契約者数	延利用者数	月平均
ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ	八日市	549 人	6,888 人	574 人
	永源寺	137 人	2,752 人	229 人
	湖東愛東	86 人	2,195 人	183 人
	五個荘能登川	552 人	5,533 人	461 人
	蒲　生	107 人	1,070 人	89 人
	合　計	1,431 人	18,438 人	1,536 人

①管理者、サービス提供責任者会議等（訪問介護と一体的に実施）

（２）指定特定相談支援事業（相談件数等は相談支援事業に含め掲載）

障がい福祉サービスを利用されるにあたり、必要となるサービス等利用計画を作成しました。利用者にとって他職種との連携をはかりながら相談やサービス調整を行いました。

	事業所数	計画相談数	継続支援数	延支援者数
特定相談支援事業	ハートピア	10 件	20 人	30 人
	障害福祉センター	14 件	21 人	35 人

①担当者会議（随時打ち合わせ実施）
・Ｈ２５特定相談業務確認、相談支援２事業所の連携について、相談支援から計画相談移行進捗状況確認

13. 在宅福祉サービス関連受託事業

介護保険や障がい福祉サービス事業等の知識、技術を有効に活用し、市との連携・情報交換を行いながら地域の福祉サービスの充実を図るため、効果的な委託事業の実施に努めました。

（1）高齢者福祉事業

事業名			委託元	実施事業所等	契約者数	延利用者数
介護予防ケアマネジメント			市	各ｹｱﾌﾟﾗﾝｾﾝﾀｰ(4ヵ所)	居宅介護支援で報告	
生活管理指導員派遣事業			市	各ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ(5ヵ所)	15 人	56 人
高齢者虐待対応短期宿泊事業			市	永源寺支所ゆうあいの家	0 人	0 人
生活管理指導短期宿泊事業			市	永源寺支所ゆうあいの家	0 人	0 人
住居提供事業			市	永源寺支所ゆうあいの家	7 人	―
脳の健康教室	市	一期目４～７月開催		湖東ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ	9 人	113 人
				蒲生支所せせらぎ	8 人	87 人
	市	二期目８～11 月開催		八日市保健センター	9 人	76 人
				五個荘ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ	6 人	64 人
	市	三期目 12～３月開催		能登川保健センター	11 人	131 人
				八日市保健センター	10 人	142 人
認知症高齢者 見守りネットワーク事業			市	認知症対応通所介護ハートピア（不決定） 認知症対応通所介護ちゃがゆの郷（決定） 小規模多機能型居宅介護かじやの里継続（３年目）		
介護職員等研修派遣支援事業			県	通所介護じゅぴあ(辞退)、なごみ（辞退）		

（2）障がい者福祉事業

事業名	事業所名	相談件数			その他	延活動件数
		電話	来所	訪問	連絡調整	
相談支援事業	ハートピア (八日市)	345 件	41 件	234 件	1,021 件	1,641 件
	障害福祉センター (能登川)	183 件	29 件	200 件	542 件	954 件
	合　計	528 件	70 件	434 件	1,563 件	2,595 件

①担当者会議等（特定相談支援事業と一体的に実施）

事業名		事業所	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
外出支援事業	移動介護ｻｰﾋﾞｽ	ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ 五個荘能登川/蒲生	41 人	3 人	131 人	11 人
	ｶﾞｲﾄﾞﾍﾙﾌﾟｻｰﾋﾞｽ	各ﾍﾙﾊﾟｰｽﾃｰｼｮﾝ （5ヶ所）	101 人	8 人	270 人	23 人

①管理者、サービス提供責任者会議等（訪問介護と一体的に実施）

事業名	事業所	延契約者数		延利用者数	
		年間	月平均	年間	月平均
地域活動支援センターⅡ型事業（障がい者デイサービス事業）	ハートピア（八日市）	149 人	12 人	1,078 人	90 人
	障害福祉センター（能登川）	348 人	29 人	1,228 人	102 人
	合　計	497 人	41 人	2,306 人	192 人

①担当者会議（年５回）

・情報交換、交流事業について、パンフレット作成、事業計画、予算、次年度計画について、サービス内容について

14. 在宅福祉サービス自主事業

（１）訪問介護私的契約サービス】（各ヘルパーステーションにて実施）

事業名	事業所数	種別	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
おたすけｻｰﾋﾞｽ	5	介護	50 人	4 人	145 人	12 人

（２）福祉輸送事業（ヘルパーステーション五個荘・能登川にて実施）

事業名	事業所数	種別	延契約者数		延利用者数	
			年間	月平均	年間	月平均
介護タクシー	1	乗降介助	249 人	21 人	1,267 人	106 人
		身体介護	123 人	10 人	350 人	29 人
法定タクシー	1	乗降介助	94 人	8 人	176 人	15 人

15. 在宅福祉事業実習受け入れ・研修等

介護職員の育成、福祉への理解促進などを念頭に、福祉関係資格取得のための訪問介護実習や教員免許取得に関する介護実習などの受け入れを行いました。また、介護職員初任者研修の講師として職員の派遣や、職員の段階的な研修受講を進めました。

・訪問介護同行訪問実習受け入れ
（日野高校 14 名、びわこ学院大学 32 名、彦根総合高校 2 名
介護労働安定センター5 名）　：53 名
・教員免許法に基づく介護体験実習受け入れ　：　3 名
・介護職員初任者研修講師派遣　：　2 名
・ステップⅠ研修（新任研修）　：　4 名
・ステップⅡ研修（組織におけるコミュニケーション、業務の問題解決他）　：延 12 名
・ステップⅢ研修（事例研究、福祉職場のリスクマネジメント他）　：延 7 名

・管理者研修（業務管理：コミュニケーション研修）　：　4 名
（リスクマネジメント）　：　1 名

・精神保健医療福祉従事者研修　：４名
・身体拘束ゼロセミナー　：６名
・ケアマネージャー現任研修・更新研修　：６名
・主任ケアマネージャーフォローアップ研修　：１名
・相談支援専門員初任者研修　：２名
・認知症管理者研修　：１名
・管理者研修（必須）　：17名

16. 福祉諸団体の担当事務局と活動支援

（１）東近江市共同募金委員会事務局の運営

（２）東近江市民生委員児童委員協議会

①協議会事務局の運営

・東近江市民生委員児童委員協議会総会の開催
・理事会の開催（毎月２５日）
・部会・委員会活動の実施
・市内１４地区民児協との連携

②要援護者把握調査（社会福祉調査・災害時要援護者支援台帳）の実施

③各種団体との協働活動

④広報「民児協のまど」の発行（発行回数　５回）

会長副会長研修　総社市視察

障がい者福祉部会研修

東近江市民生委員児童委員協議会　総会

（３）東近江介護サービス事業者協議会事務局を担当

（４）大萩茗荷村推進委員会への協力

（５）社会を明るくする運動への参画

（６）その他福祉諸団体の活動支援